切って使える家庭菜園ガイド

ダイコン

品種例
「耐病総太り」
「千都」など

栽培のポイント

❶肥料を上手に施しましょう

吸肥力の強い野菜なので、少ない肥料でもよく吸収します。しかし、肥料が不足すると根の肥大が劣って品質が低下します。堆肥を丹念に追肥して、肥料切れを起こさないように育てましょう。また、未熟成の堆肥は根の障害を起こしやすいので、完熟の状態にしておきましょう。

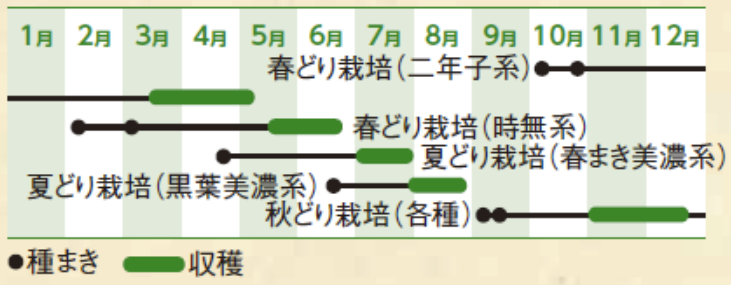
❷股根（またね）に気をつけて

土中に深く伸び肥大していく過程で、根の先端に石や硬い土があると側根が大きくなり、先端が二股に分かれてしまいます。これを「股根」といいます。畑を深く丁寧に耕し、生育を邪魔する石などは取り除いておきましょう。

❸収穫時期に注意しましょう

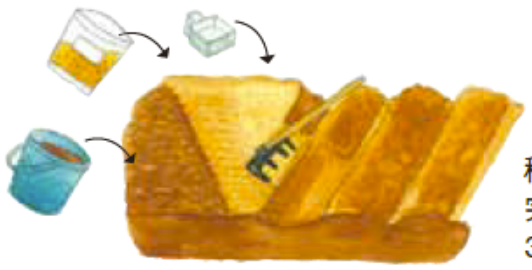
収穫時期が遅れると、中に「ス（空洞化）」が入ってしまいます。採り遅れには十分注意しましょう。

栽培カレンダー



1 畑の準備

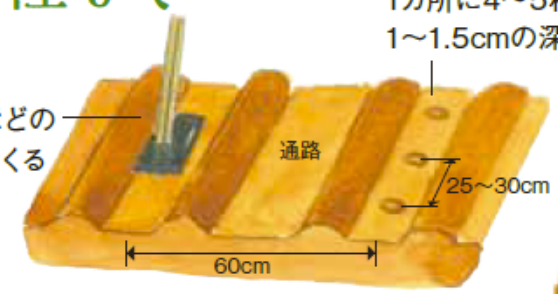
前作が片づき次第、石灰をまいて耕しておく



＜1㎡あたり＞
完熟堆肥：5 ～ 6握り
化成肥料：大さじ2杯
油粕：大さじ4杯

種まきの半月以上前に良質の完熟堆肥と肥料を与え、30～35cmの深さによく耕す

2 種まき

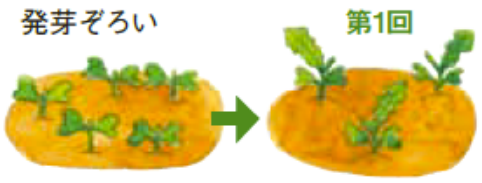


1カ所に4～5粒ずつ種をまき、1～1.5cmの深さに覆土する

大型の品種は株間を広くとる

ジュースの缶などを押しつけ、
地面にできた円の形にそってまけば、種が片寄らない

3 間引き・土寄せ



本葉1枚のころ3本に。間引いた後、株元へ手先で軽く土を寄せる

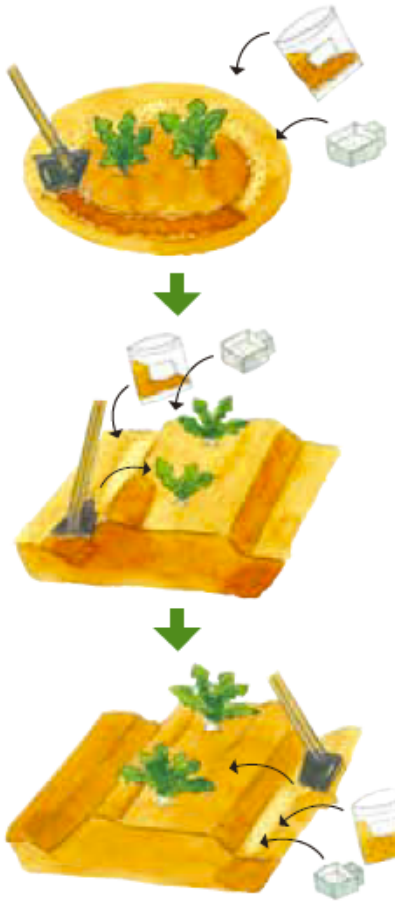
間引きのとき
子葉の形がよいものを残す

生育初期に子葉の形が整ったものは根形がよく、整わないものや大きすぎるものは根の形も崩れやすい

第2回
本葉3～4枚のころ
2本に。株元へ軽く土を寄せ、ふらつかないようにする

第3回（最終間引き）
本葉6～7枚のころ、
1本立てにする

4 追肥



第1回〈1株当たり〉
化成肥料：小さじ1杯
油粕：小さじ1杯
第2回間引き後、株のまわりにばらまき、軽く土とまぜ合わせる

第2回〈1株当たり〉
化成肥料：大さじ1杯
油粕：大さじ2杯
第3回の間引き後、畝の片側にばらまき、鍬で土と混ぜる

第3回〈1株当たり〉
化成肥料：大さじ2杯
第2回追肥の半月後、反対側にばらまき畝を形づくる

5 収穫

上方に向かって勢いよく伸びていた葉が開きぎみになり、外葉が垂れるようになったら収穫の適期。収穫が遅れるとス入り（空洞化）してしまう

おでんといえば「ダイコン」！という方も多いのでは。冷えきった身体を温めてくれ、寒い時期に食べると格別ですね。ぜひ挑戦して下さい。

揖龍営農生活センター
安田 研人

キリトリ線に沿ってお切りください